

既設砂防えん堤のスリット化検討

●業務の背景

公共事業のコスト縮減が求められる中、従来の構造物を造る事業から、補修する事業への質的転換が行われつつあり、そ

れと相まって環境への配慮、公共事業の投資効果等新たな発想に基づく、砂防施設計画が求められています。

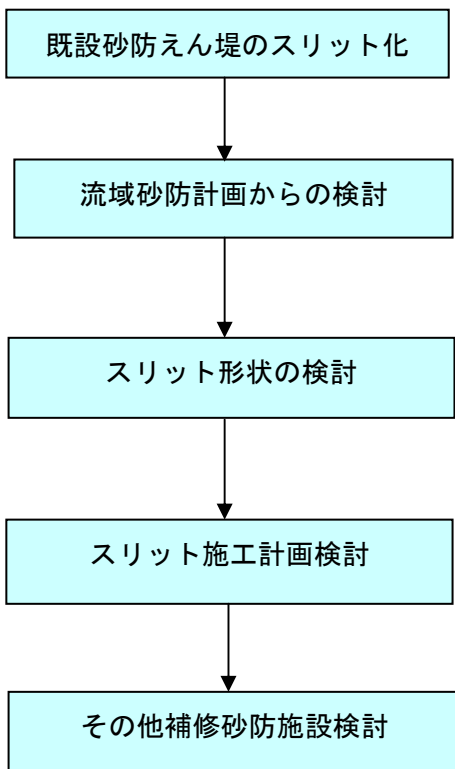
●砂防えん堤のスリット化

従来の砂防えん堤は、クローズダムと云われ、えん堤上流に堆砂させる事により、不安定に堆積している河床堆積土砂流出を防止すると共に、洪水時に流下する土砂を調節する効果がありました。その結果、河道縦断形状が階段上となり、土砂流出は抑制できても河道に生息している動植物にとっては、好ましくない環境を造る事となってしまいました。そのような事から、新しく“有害な土砂”はえん堤上流に堆砂させ、“無害な土砂”は下流に流す、新たな発想の“流す砂防計

画”の立案が浮上してきました。

そこで、当社では、流域砂防計画を勧案した、既往砂防施設のスリット化検討を行い、併せてその設計・施工計画までを実施しています。なお、平成12年度には北陸地方整備局から「スリット化施工計画検討業務」において局長表彰を賜っていると同時に、現在、長野県、北海道、北海道開発局から委託され、業務を遂行しております。

検討業務の内容



関東地整富士川砂防管内 尾白川第3砂防ダムえん堤スリット化工事中

●業務実績

年度	発注者	業務内容
H11	北陸地整飯豊山系砂防工事事務所	既往砂防ダムスリット化仮設備検討設計業務（局長表彰）
H13	北陸地整飯豊山系砂防工事事務所	上ノ沢スリット施工計画検討業務（プロポーザル特定）
H14	北海道開発局旭川開発建設部	既設砂防えん堤スリット構造検討業務
H14	長野県姫川砂防事務所	国補特定緊急砂防に伴う計画・設計
H14	北海道小樽土木現業所	畚部川（道単）砂防工事砂防計画調査設計